

一般質問

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



3月14日から16日、20日、22日の5日間にわたり、30名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたどりました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。



青年と若者の新たな社会参画を

吉田つとむ(無所属)

青年や若者に相当する世代(20〜30歳代)を新たに世代区分して、行政がバックアップしながら、社会参画をうながすべきである。

政策経営部長 まちだ未来づくりビジョン2040では、

多様な働き方に適した環境づくりといった施策を、青壮年期には挙げていますが、20歳から29歳の転出超過が続いています。今後、必要な施策に

については研究していきたい。

町田センタービルの空きフロアが気になる。遊技場及び場外施設が進出し、町田市は街が明るくなったと判断しないか心配である。

都市整備担当部長 法を遵守したものであれば、よしあしを判断する立場にはありませんが、ウォークアブルな町にふさわしい、居心地のよい場が創出されることが望ましいと考えています。



デイスレクシア・伴走型支援

松葉ひろみ(公明党)

読み書き障がい(デイスレクシア)のある児童・生徒に対する試験時の配慮は。

学校教育部長 本人、保護者と合意の上行っています。

問題用紙や解答用紙へのルビ振りや用紙の拡大、リーディングトラッカーの活用、文章の読み上げや試験時間延長を行っているケースもあります。

専門主婦家庭でも利用できる定期一時保育など、新

たなサービスにも取り組む必要があると思うがどうか。

子ども生活部長 国や都の動向を注視し、新たな事業を含め、市民がサービスを受けられるよう努めていきます。

高齢者のいざという時の支援の必要性を求めているが、その後検討したものは。

いきいき生活部長 ICTをはじめ様々な機器活用について、他自治体の取組に関する情報収集を行っています。

終活を支援するために



対応や学童の明確化を報

矢口まゆ(諸派)

保育園や幼稚園、こども園、学童保育等で虐待や不適切保育について職員や保護者、子どもなどから相談された場合、受けた人によって対応が変わることがあつては

けない。どのような内容に対して、どのような対応が必要かなど明確な基準をまとめておくべきと考えるがどうか。

子ども生活部長 手順書などを作成することが統一した

対応とか、あとは迅速な対応にもつながりますので、有効な手法であるというふう

に考えています。今後は、「不適切な保育の未然防止及び発生の時の対応についての引きき」

厚生労働省から21年3月に公表されたものですが、この視点等も参考に、これまで市のほうで行ってきた事実確認の方法等をまとめた手順書というふうなもので作成していきたいと考えています。



行部活動の地域移

加藤真彦(自由民主党)

地域移行に向け、幅広い団体や事業者と協議の場を設ける予定はあるか。

指導室長 23年度から庁内検討組織を設置し、庁内関係部署と連携し、部活動の地域移行の在り方について、検討したいと考えています。

農産物利用拡大のため

に保健給食課と農業振興課が連携してJAと共に仕組み作りを取り組んでほしい。

北部・農政担当部長 学校給食については、市内や町田市農業協同組合と連携を図りながら、市内農産物の利用拡大に取り組んでいきます。

保管庫を利用した前日納品を可能としてみたいかどうか。

学校教育部長 保管庫内に温度計を設置するとともに、保冷剤とか保冷箱の配置を拡大していくなど、より活用できる工夫を図っていきます。



資源ごみの戸別

森本せいや(まちだ市民クラブ)

「資源ごみの戸別収集」を開始するべきだ。地域に、現道における安全対策も、

の負担軽減、資源化促進、モラルの醸成等メリットが多い。

本本副市長 収集体制の見直しは、検討を進めています。今後、先進自治体に調査をし

て、事業にも、課題などについてヒアリングを行うなど、検討を進めていきます。

「三輪地域」鶴川駅へ

延びる真光寺長津田線」は歩道が狭隘で危険な道路である。

道路部長 川崎市に対し引き続き整備を要請するとも

に、現道における安全対策も、地域の要望などに基いて具

体的対策を要請していきます。

町田市版総合評価方式」を公正に活用し、災害協

定項目については是正すべき。

財務部長 地域貢献している事業者の活動も評価の対象とする方向で速やかにやって

いきたいと考えています。



ロケの街まちだ

村まつ俊孝(公明党)

市内の撮影が増えている。ロケ支援の強化、ロケツ

リズムを行ってはどうか。

経済観光部長 市がロケ地として使用されることで、来

訪促進や市民の愛着の向上が期待されます。ロケが行われた際は、ロケ地マップの作成

やSNS発信などを行いたい。

「脱炭素先行地域」への応募を検討してはどうか。

環境資源部長 町田市バイ

オエネルギーセンターのポテンシャルを活用し、省エネルギー、再生可能エネルギーの普及導入を進め、エントリー

について、検討していきたい。

町田市でもおみやみやみ

ンストップを導入できないか。

市民部長 国において課題の整理などを行っているところ

で、その検討状況を注視しています。おみやみやみ

のハンドブックは導入に向けて検討していきたいと思

います。

若林章喜(選ばれる町をこころる会)

市内の特殊詐欺被害が今年に入り増加している。危機感を持って、警察・地域と

共に犯罪防止を推進すべき。

防災安全部長 日常生活に

防犯の視点を取り入れていた

だくなど、警察、地域の皆様と一体となって特殊詐欺被害

の根絶に向け取組を進めます。

特殊詐欺の未然防止と

して、学校教育に警察の教材を活用してはどうか。

指導室長 警察では子ども向けの教材を用意しており、特殊詐欺を扱った教材もある

ので、小中学校に周知し、実態に応じて活用していきます。

誰もがやりたい部活動ができる環境を整えるべきかどうか。



環境／動物愛護

佐藤和彦(まちだ市民クラブ)

事業者である町田市として再生可能エネルギーの導入に向けてのスケジュールを示すべきかどうか。

本本副市長 23年3月に、脱炭素化に向けて、「町田市

公共施設脱炭素化推進ガイドライン」を策定しました。

障がいのある方が直接スポーツをする機会を増やすべきだが取組内容は。

文化スポーツ振興部長

指導室長 生徒の安全面も含め、責任を持って安定的に行っていくために、23年度に行う部活動の在り方検討において、検討していきます。

子ども生活部長 将来的な保育ニーズ量を踏まえ、保育所等配置の検討を進めています。

地域の子をさを生かし、よりよい保育が提供できる施設の在り方も整理していきます。

相原・大戸地域のにぎわいについて問う。

子ども生活部長 大地沢自然交流サイトは指定管理者制度を導入します。近隣自治体と連携していくことは、今後

も重要と考えています。



浸水対策の

小野寺まなぶ(公明党)

都でTOKYO強靱化プロジェクトが策定された。下水道の地震・浸水対策について問う。

下水道部長 計画的に地震、

浸水への対策を進めています。

都と補助金について確認を進めており、23年度からの活用

に向け準備を進めています。

小山町・小山ヶ丘地域の子育て世代への支援について問う。

子ども生活部長 将来的な

保育ニーズ量を踏まえ、保育

所等配置の検討を進めています。

地域の子をさを生かし、よりよい保育が提供できる施設の在り方も整理していきます。

相原・大戸地域のにぎわいについて問う。

子ども生活部長 大地沢自然交流サイトは指定管理者制度を導入します。近隣自治体と連携していくことは、今後

も重要と考えています。